



ウラジオストック沿海州政府の建物と中央広場。多くの人々が行き交う地区。  
みんなで買物と散策



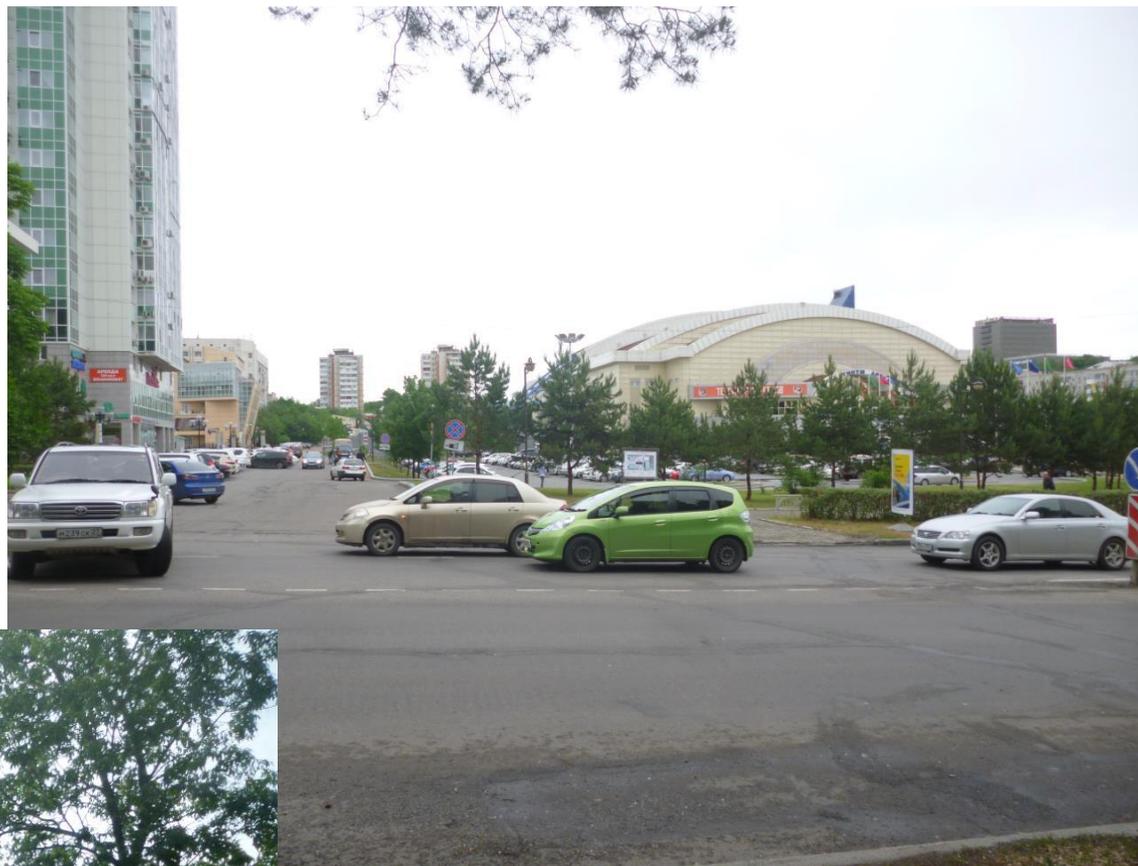
シベリア鉄道に乗車する。美人の車掌さん付き。夕食と朝食、シャワー室も備え最高級



シベリア鉄道始発のウラジオストック駅。ハバロフスクには 11 時間、終点モスクワは 6 日後

ハバロフスクはまったく地震がない。  
高層ビルに人々は住居を構える。厳冬期を中心にエネルギーの確保が重要になるからだ。

宿泊したオリンピックホテルと有名なアイスホッケー競技場が向かい合っている。  
(右写真)



軍病院のわきの道路  
日本車が9割を占めているようだ。  
昨年と比べて格段に新車が多くなった気がする。(左写真)



25日には、ハバロフスクにある太平洋大学を訪問した。  
学生数は2万人。ワシリー体育学部長から大歓迎を受けた。





ハバロフスク総合周産期医療センター ロシア全土で82か所整備済みでハバロフスク地域では2か所整備されている。母体胎児集中治療室を整えるなど、高度周産期医療を提供している。



ハバロフスク極東医科大学において、マリーナ・リザンキナ副学長から「ロシアにおける母子保健の現状と課題」について講義を受ける。



極東医科大学の先生方(右からタチアナ副学長、国際部ゾーヤ先生、リザンキナ副学長、アンドレイ副学長、イリエニコ国際部長の面々)



極東医科大学のシュミレーションセンター見学  
新生児や乳児集中治療の実際を説明していただく。





小児臨床リハビリテーションセンターのスタッフと一緒に。中央がオリガ所長

# 小児臨床リハビリテーションセンター (アムールスキー)にて

言語訓練室 ↓



機能訓練室 ↑